

(別添資料1)

事業所名

TSヒマワリ

支援プログラム

作成日

6 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念		『～一人ひとりが主人公となって、将来ステキな大人になるために～』 私たちは、18歳までの期限付きのサービスであることを前提に、①今までどんなことを頑張り、どんなことに困り、それをどう乗り越えてきたかを聞くこと②これからどんな風に育ってほしいか、将来はどんな大人になってほしいかを共に描くこと　　を大事に「今」を支援します										
支援方針		中学・高校生という成長著しい時期に、同世代の仲間と ●「働き続けるために必要な力」「自立するための“いきる”　力」を身につける ●障がいの有無にかかわらず、様々な経験や体験ができる ●誉められたり、葛藤したりしながら、心の成長ができる 機会をつくり提供します。										
営業時間		平日	09	時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無	○あり　　なし
		休日 (学校休業日)	08	時	30	分から	17	時	30	分まで		
		支　援　内　容										
本人支援	健康・生活	・ライフスキルトレーニング（LST）：身だしなみや姿勢等、生活上のスキルを習慣化し、自立した生活が実現できるようサポートします。 ・健康管理：来所時や送迎時の健康チェックを行います。 ・生活リズムの確立：スケジュール管理や睡眠の重要性を学び、ご家族の協力を得ながら、規則正しい生活を促します。										
	運動・感覚	・体力作り：来所時に路線バスを使用したり、ゲーム（ウォークラリー）をしたりしながら自分で歩いて目的地に行く機会をつくります。 ・姿勢：正しい姿勢で学習に取り組めるようにしていきます。 ・感覚：ハサミ、のり、カッターなどの道具を使いながら指先の動きをコントロールする力をつけていきます。										
	認知・行動	・自己調整：スケジュールの確認による時間の意識や経過を感じられるように支援します。 ・問題解決：問題解決のステップを伝え、グループディスカッションを通じて多角的な視点から解決方法を学びます。（気持ちのコントロール。ストレスへの対応。失敗したらどうする？） ・課題遂行：工作や調理活動により、完成をイメージしながら手順通りに作る経験をしてもらいます。										
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーション：ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じて、友達とのコミュニケーションや協力の仕方を学びます。 ・見える化：ルールなどを文字や絵カードを使って視覚化した支援を行います。 ・協力活動：制作活動やグループゲームを通じて、友達とのやり取りを楽しみながら、チームワークと協調性を育みます。 ・自己紹介や自分の思いをみんなの前で発表する機会をつくります。										
	人間関係 社会性	・ソーシャルスキルトレーニング（SST）：挨拶や自己紹介、「ありがとう」や「ごめんね」などの表現を練習し、人との関わり方を体験します。自身の頑張ったところ・良かったところを知る経験を増やし、「自信をつける」「自身を認める」チカラをつけます。友だちの良いところを見つけ、伝える練習をします。 ・作業体験：法人内の就労事業所や地域の喫茶スペースで作業や仕事の体験を行います。 ・公共交通機関の利用：公共交通機関の乗り方やマナーを経験しながら、自身の活動範囲を広げていきます。										
家族支援		・連絡ノート、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や電話にて不安や困りごとへの相談援助を行います。 ・年2会保護者同士が交流できる会を開催しています。 ・小・中学生のきょうだい児については法人内のきょうだい会を紹介又はつなげます。					移行支援		・卒業後の進路先と情報共有を行います。 ・市内中学校から特別支援学校に進学する際、行き方の練習を本人・保護者と共同で行います。			

地域支援・地域連携	・地域の公民館や児童センターを利用したり、地域の夏祭りやマルシェ、文化祭に参加したりして、顔の見える関係を作りながら連携しています。 ・学校、福祉サービス事業者等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています	職員の質の向上	・半田市自立支援協議会子ども部会主催研修参加 ・法人及び事業所内研修（虐待防止、感染対策等） 年3回実施 ・ソーシャルスキルトレーニング（SST）の研修参加 ・強度行動障害支援者養成研修（基礎/実践）参加
主な行事等	プログラム参観日（年2回）、避難訓練（年2回）、引き渡し訓練（年1回）、保護者交流イベント（年2回） 日帰り旅行、事業所秋まつり、忘年会、卒業生を送る会、季節のイベント		